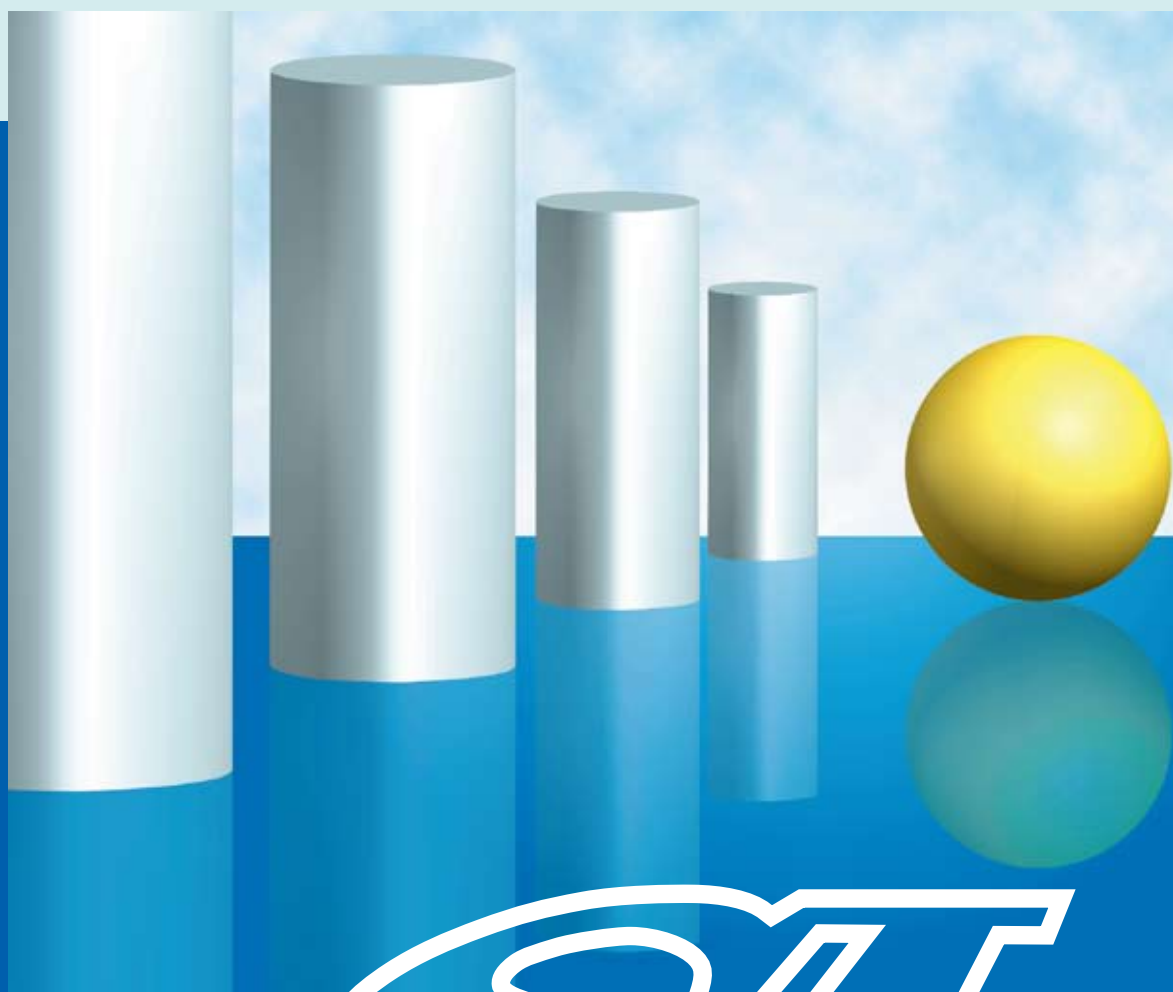


セメント系セルフレベルング材

太平洋 **STL**



STL



太平洋マテリアル株式会社

セメント系セルフレベリング材

太平洋SL

太平洋SLはセメント系だから
広範囲に優れた性能と施工性を発揮。

私達が快適な生活を営む上において、パーケット、Pタイル、じゅうたん、畳等は欠かすことのできないものになっています。

これら床材の仕上り状態は床下地の面精度の良否によって大きく左右されます。従来、床下地づくりはモルタル金鏝押えでなされていますがより面精度の向上、作業効率の向上が求められています。

こうした時代のニーズに応えるため、太平洋マテリアル株式会社は他社に先駆けて画期的な床下地材の研究開発に取り組み、内装の張物下地として優れた性能と施工性を発揮するセメント系セルフレベリング材「太平洋SL」を販売し、皆様にご愛用頂いております。



太平洋SLの特長

1 優れた物性

太平洋SLはセメントが主体ですから、強度、耐摩耗性など諸物性に優れています。また、アルカリ性ですから金属配管、その他鉄部を錆びさせません。

2 施工が簡単

太平洋SLは、水を加え混練し、流し込みと簡単なならしだけで精度の高い、平滑な床面が得られます。従ってモルタル金鏝仕上げなどに比べ施工が非常に簡単です。また、複雑に入り込んだ床面でも施工が容易にできます。

3 優れたセルフレベリング性

骨材の粒度組成、流動性調整剤を理想的に配合してありますので、優れたセルフレベリング性を発揮します。

4 省力化および工期の短縮

高速ミキサー、圧送ポンプの組合せで簡単に機械施工ができ、施工能率は抜群です。

5 多品種の張物床下地に適応

合成樹脂系材、じゅうたん、畳など多品種にわたる張物床仕上げ材の下地として最適です。

※木質系張床材は、裏面にゴム、ウレタン等のクッション材が付いていないものは使用できません。

太平洋SLの一般的物性



フロー値測定

項目	試験結果	試験方法
フロー値	215 (mm)	JASS 15M-103 (セルフレベリング材の品質基準)による
混練水量	27 (%)	SL材に対して
スラリー比重	1.95	JIS A1174に準ずる
硬化体比重	1.75	—
凝結時間	始発 09—05 (時間—分)	JASS 15M-103 (セルフレベリング材の品質基準)による
	終結 10—10 (時間—分)	
圧縮強さ	材齢 28日 26.5 (N/mm ²)	同上
下地接着強度	材齢 14日 1.4 (N/mm ²)	同上
表面接着強度	材齢 14日 1.0 (N/mm ²)	同上
長さ変化	材齢 28日 0.10 (%)	同上
衝撃	割れはがれ無し	同上

※上記のデータは、当社で評価したものです。上記のデータは代表値であり、品質保証値ではございません。

(於 弊社開発研究所)

太平洋SLの標準施工法

1. 事前打合せ

- 事前にレベルチェックを行ない、設計打設厚さと測定値との差がある場合は、下地の修正あるいはレベル修正を行い、**材料の過不足**が生じないようにしてください。

2. 下地処理

- 下地の汚れ、ほこり、表面脆弱層、油脂類は接着不良の原因となりますので取り除き清掃します。
- 太平洋SLは、流動性が高く、わずかな隙間で流れ出ますので、前もって開口部は堰をつくり、またALC板のジョイントなどの隙間はモルタルを充てんし完全にシールします。

3. プライマー塗布

- プライマー塗布は、均一に2回行ないます。はじめに太平洋SLプライマーを水で5倍希釈液にして塗布し、乾燥の後さらに、太平洋SLプライマー3倍希釈液を塗布し乾燥させます。

4. レベル表示・堰のセット

- 仕上面を表示するため、壁など適当な場所に墨出し、あるいはあたりをとりまします。また、面積が広い場合は、ミキサーやポンプの能力および現場の状況に応じて目地棒で堰をつくりまします。

5. 調合・混練

- 所定量の水を入れ攪拌しながら太平洋SLを投入し、十分に混練まします。
- 標準配合

太平洋 SL	清 水
1 袋 (25kg)	6.5 ~ 7.0 ℓ

6. 打設・仕上

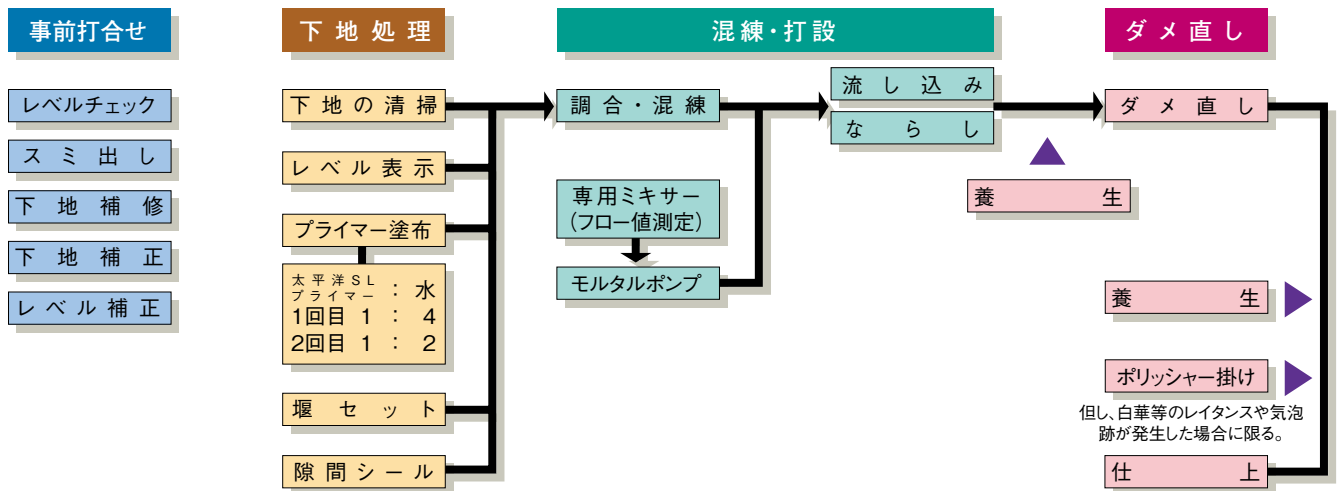
- 打設は施工個所の隅から順に、レベル表示に従って行い、ならし道具で仕上げまします。

7. 硬化後の処理・養生

- 硬化後、打ち継ぎなどの凸部はサンダーなどで削りまします。
- 気泡跡の凸部はケレン棒などで削り、また凹部は補修用モルタルで補修まします。
- 打設より1昼夜経過後には軽歩行可能となりますが、床仕上げまでの養生期間は、打設厚さや気象条件により7日以上必要です。
(ただし1ヶ月以内に床仕上げを完了してください)

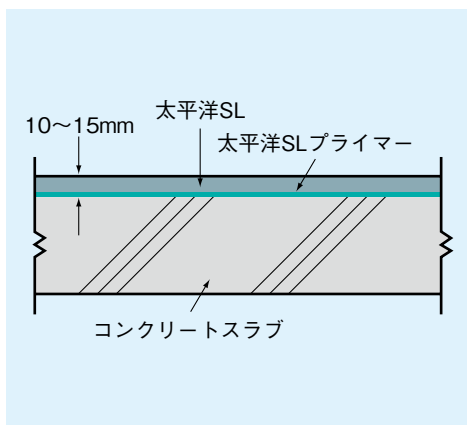
※施工法の詳細は、太平洋SL標準施工要領書をご参照ください。

太平洋SL施工工程図



太平洋SL施工厚さ

太平洋SLの標準施工厚さは10～15mmです。



太平洋SL使用量 (太平洋SL1袋当りの練り上がり量 15ℓ)

打設厚 mm	1m ² 当り使用量	1袋当り施工面積
10	16kg	1.5m ²
15	24kg	1.0m ²
20	32kg	0.7m ²

太平洋SLプライマー使用量

下地状況	1回目	2回目	塗布量 (m ² /缶)
標準 (金ゴテ押さえ等)	5倍希釈液	3倍希釈液	100～120
軽量コンクリート下地等吸水が大きい下地	5倍希釈液	3倍希釈液	80～100

※下地の状態によって吸水が異なりますので塗布量が変わることがあります。

太平洋SLの使用上の注意事項

- 材料の使用量は事前にレベルチェックをした上で積算してください。
- プライマー塗布は必ず太平洋SLプライマーを使用し、太平洋SL施工前日に2回塗布してください(1回目が充分乾燥後)。なお、気泡防止、接着力増強のため、各希釈液を左官刷毛等で刷り込むように塗布してください。他のプライマーを使用すると、ひび割れ、剥離等の原因となります。
- 混練は機械練りで均一に練混ぜてください。アルミ製羽根のハンドミキサーで練混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し、施工後モルタルが異常膨脹することがありますので使用しないでください。
- 施工時に通風、直射日光の恐れがある場合は適当な防護処置をしてください。
- 下地の養生期間はコンクリート下地の場合28日以上、モルタル下地の場合は夏季14日以上、冬季21日以上取ってください。
- 床材を剥がした後の下地直しの場合、下地に付着したのりは必ず除去して下さい。
- 勾配を必要とする場所には使用できません。
- コンクリート養生剤は、太平洋SLとの接着を低下させる恐れがありますので、ご使用の際には弊社担当者までお問い合わせください。
- 太平洋SLの保管、管理はセメントと同様に湿気を避け乾燥状態で行ってください。

太平洋SLの注意事項(業務用)

- ※本製品はカタログに記載されている方法で使用してください。
(安全上の注意)
- 取扱い時: 本製品はセメント同様アルカリ性を示します。眼、皮膚及び衣類に触れないよう保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
 - 皮膚付着時: 肌あれを起こすことがありますので直ちに水洗してください。
 - 眼に入った時: 誤って眼に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、医師の治療を受けてください。
 - 作業後: 手洗い、うがいをしてください。

太平洋SL施工機器

機 器	電気容量	器 具
高速度グラウトミキサー モルタルポンプ	水量計 水中ポンプ 容量100~150ℓ 能力 2~3m ³ /h	ミキサー 1台と して1式使用 200V、50A 水槽(ドラム缶)、 ならし用トンボ その他 左官工具一式

太平洋SLプライマー注意事項(業務用)

- ※本製品はカタログに記載されている方法で使用してください。
(安全上の注意)
- 取扱い時: 保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用し、眼、皮膚に付着させない様にしてください。
 - 皮膚付着時: 誤って皮膚に付着した場合、直ぐに拭き取り、石鹼水で洗浄してください。炎症が起きた場合は、医師の治療を受けてください。
 - 眼に入った時: 誤って眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の治療を受けてください。
 - 誤飲時: 本製品は絶対に飲まないでください。誤って飲み込んだ場合は、多量の水又は食塩水を飲み、吐き出した後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 作業後: 手洗い、うがいをしてください。
- (取り扱い上の注意)
- 漏出時: オガクズ、ウエス、乾燥砂等に吸収させて回収してください。
 - 廃棄方法: 内容物は、都道府県条例に基づき焼却するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。海、河川、池、下水道、公共用水地域等への投棄は絶対にしないでください。
 - 保管方法: 凍結しない様に注意し、5~40℃で直射日光の当たらない室内に保管してください。開封後は、乾燥しないよう密封して保管してください。



太平洋マテリアル株式会社

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

本 社	〒114-0014	東京都北区田端 6-1-1 田端 ASUKA タワー 15 階			
		営業本部 機能性材料営業部			☎03-5832-5217
北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル			☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804	宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル			☎022-221-4511
東京支社	〒114-0014	東京都北区田端6-1-1 田端 ASUKA タワー16階			☎03-5832-5241
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル			☎052-452-7141
関西支店	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル			☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル			☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル			☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル			☎092-781-5331
北東北営業所	☎019-639-1260	静岡営業所	☎054-685-8333	沖縄営業所	☎098-867-9663
北陸営業所	☎076-234-1670	鹿児島営業所	☎099-812-7131		